

# 市長から 市民のみなさんへ 24



山形県市長 白井 博文

## 5月28日「百ます計算」でおなじみの 陰山先生の講演会がおこなわれます

今年度の本市の教育行政に関しては、「山口東京理科大連携プロジェクト」、「国民文化祭 子ども主役プロジェクト」など「7つのプロジェクト」を掲げ、取組みを行うことにしています。そして、7つの中でも大きな柱の1つである「生活改善・学力向上プロジェクト」については、いよいよ新学期からその取組みがスタートしたところです。

これは、小学校において「読み・書き・計算」などの基礎的な反復学習を続けていくことで脳機能を活性化させ、「集中力」を高めることを目的としています。そして、その土台となるのが「健康な体」であり、そのためには「早寝早起き朝ご飯」といった規則正しい生活が不可欠となってくるとしています。このプロジェクトを通して、学力向上はもちろんのこと、子どもたちの「自信」と「生きる力」が高まることが期待されますが、そのためには保護者のみなさんのご理解ご協力なしには実現しない、いわば学校現場と家庭とが一体となって取り組む市をあげての大事業とも言えるかもしれません。

今回、このプロジェクトを導入するに当たって、全面的な協力・連携をしていただくのが「百ます計算」でおなじみの<sup>かげやま</sup>陰山英男先生です。ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、先生は広島県尾道市の小学校でこのようなトレーニングを実践し、児童の読解力、暗記力など学力全体を向上させ、大きな成果をあげられました。本市ではその中でも最も効果的な授業システムを採り入れます。すでに学校では先生方が、この新しい挑戦に果敢に取り組んでおられます。子どもたちのために、是非、先生方を応援していただきたいと思えます。

その陰山先生の講演会が5月28日、文化会館で行われることが決定しました。(詳しくは最終ページをご覧ください)。先ほどもお話ししましたように、今回の「生活改善・学力向上プロジェクト」は、ご家庭での協力なしには実現しないものです。是非、多くの保護者の方にご来場いただき、先生の実践例、その成果とともに、本市のこの取組みについて、ご理解をしていただく場となれば幸せに思います。

## 路線バスについてのアンケート ご協力ありがとうございました

昨年秋に実施した路線バスのアンケートの結果について、その簡単な概要を3ページから掲載しています。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。65歳以上の全世帯対象におこなったものについては、64%という高い回収率となりました。多岐にわたる質問に真面目に取り組んでいただいたことに厚くお礼申し上げます。

今回のアンケートは、市からのバス運行会社への多額の助成にもかかわらず、利用者が少ない路線バスの現状について、実際に市民のみなさんはどのようにバスを利用し、また、どのような考えをおもちか直接、市民のみなさんの声をおうかがいし、データ化することを目的に実施したものです。

今回のアンケート結果から、「バスに期待していない」という高齢者の割合が多かったことについては、正直なところ意外でした。一方で、買い物や病院への通院でバスに頼らざるをえない方も多数いらっしゃることもわかりました。

今回の結果をふまえ、まずは既存のバス路線の経路、本数について見直す作業から着手します。その内容は、バス会社に伝えることとなりますが、仮に現在のバスの本数が減り、生活に不便をおかけする地域が生じた場合は、代わりとなる方策を、経費面をふまえながら検討を行うつもりです。その際、今回のアンケートの結果を再度分析するとともに、他の自治体での先例なども研究し、何らかの形で「交通弱者」のみなさんの足の確保は行うつもりでいます。

平成17年度は約1億2千万円のバス会社への補助金のうち、国からの交付税で措置されるものなどを除いた2,200万円あまりが市の負担となりました。今後、この負担を少しでも減らし、現状よりも交通機関が便利になるような方策を慎重に検討していく方向で取り組んでいきたいと考えています。



**5・6月の  
対話の日**  
5月25日(木) 鳥越福祉会館  
6月22日(木) 南平原自治会館  
※19:00から 1時間30分程度です



**5月の  
市政説明会**  
5月14日(日) 本山公民館  
※19:00から 1時間30分程度です